

## 第55期 事業のご報告

2010年4月1日～2011年3月31日



## The Business Report



証券コード：1795



代表取締役社長

Ohtani Jun

拝啓、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
 また、東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申  
 上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国  
 向け輸出の拡大などにより、緩やかな回復基調の動きが見られたも  
 のの、経済対策の駆け込み需要の反動減、円高進行による金融不  
 安や雇用情勢の悪化に加え、東日本大震災の影響が懸念されるこ  
 とから、今後の景気動向がより不透明なものとなってまいりました。

建設業界におきましては、戸建住宅・マンション市況については  
 回復基調にあるものの、公共投資の削減、民間設備投資も景気の  
 先行き不透明感から今まで以上に慎重となり、受注競争がさらに熾  
 烈さを増すなど、極めて厳しい環境のなかで低調に推移しました。

こうした市場構造や競争環境の激変に対応すべく、当社は  
 「QCDSを強化し受注競争を勝ち抜く!」との年度方針に基づき、  
 技術力、施工力を結集し高品質の商品提供や、業務効率化を目指  
 し多能工の育成などに取り組みました。また、補修・改修市場が拡  
 大を続けるなか、配置換えによりリニューアル事業部員の増員を図  
 るなど体制を強化することにより、良質な工事案件の受注確保に努  
 めてまいりました。さらに、販売費及び一般管理費の一層の削減を  
 推し進めてまいりました。

これらの結果、当事業年度の受注高は、69億23百万円（前  
 期比10.9%減）となり、売上高は、75億98百万円（前期比2.1%  
 減）となりました。利益面におきましては、熾烈な受注競争により  
 受注単価の下落が圧迫要因となりましたが、売上高の減少も影響し、  
 営業利益は47百万円（前期比14.6%減）、支払利息の減少等も  
 あり経常利益は65百万円（前期比6.1%増）となりました。当期  
 純利益につきましては、投資有価証券の評価損失などにより37  
 百万円（前期比11.8%減）となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜  
 しくお願い申し上げます。

## 当事業年度の業績

## ■売上高

7,598百万円

## ■経常利益

65百万円

## ■当期純利益

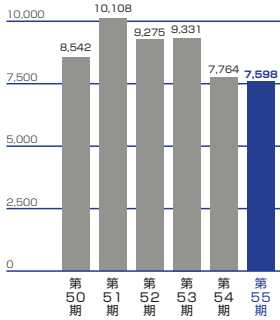
37百万円

## ■1株当たり当期純利益

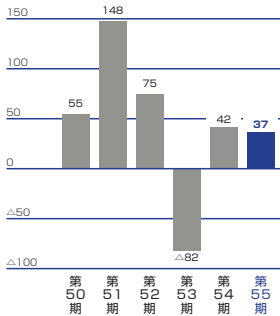
8円48銭

2011年6月

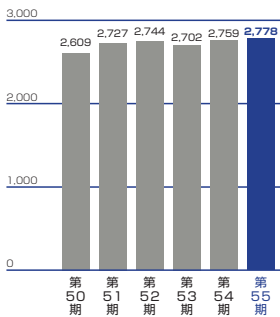
売上高 (単位:百万円)



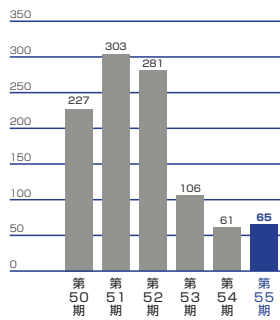
当期純利益 (単位:百万円)



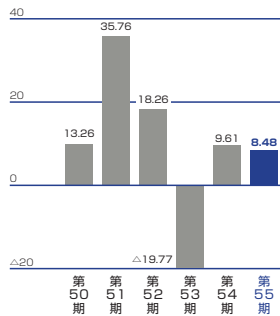
純資産 (単位:百万円)



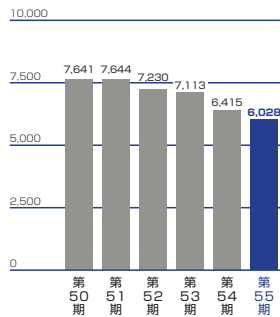
経常利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



	第50期 2006年3月期	第51期 2007年3月期	第52期 2008年3月期
売上高 (百万円)	8,542	10,108	9,275
営業利益 (百万円)	256	312	292
経常利益 (百万円)	227	303	281
当期純利益 (百万円)	55	148	75
総資産 (百万円)	7,641	7,644	7,230
純資産 (百万円)	2,609	2,727	2,744
1株当たり当期純利益 (円)	13.26	35.76	18.26
従業員数 (人)	73	80	79

	第53期 2009年3月期	第54期 2010年3月期	第55期 2011年3月期
売上高 (百万円)	9,331	7,764	7,598
営業利益 (百万円)	110	55	47
経常利益 (百万円)	106	61	65
当期純利益(△損失) (百万円)	△82	42	37
総資産 (百万円)	7,113	6,415	6,028
純資産 (百万円)	2,702	2,759	2,778
1株当たり当期純利益(△損失) (円)	△19.77	9.61	8.48
従業員数 (人)	79	76	77

※ 当社は第51期から第53期まで連結財務諸表を作成しております。よって財務ハイライトの数値は、第50期・第54期・第55期はマサル単体の数値、第51期から第53期までは連結の数値を記載しております。

資産・負債の状況 第55期 (2011年3月期) (単位:百万円)

流動資産	4,845	流動負債	2,669
		固定負債	580
固定資産	1,183	負債合計	3,250
		純資産合計	2,778
資産合計	6,028	負債純資産合計	6,028

キャッシュ・フローの状況 第55期 (2011年3月期) (単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	220 (収入)
投資活動によるキャッシュ・フロー	43 (収入)
財務活動によるキャッシュ・フロー	32 (収入)
現金及び現金同等物の期末残高	535

## 主な施工中工事のご紹介



サンシャインO棟外装シール  
打換工事  
(リニューアル工事)



住友ケミカルエンジニアリング  
センタービル外壁改修  
(リニューアル工事)



(仮称) 新宿六丁目N街区計画  
(シーリング防水工事)

## 主な当期完成工事のご紹介



三菱東京UFJ銀行青葉台分館  
外壁保全  
(リニューアル工事)



永田町二丁目計画  
(シーリング防水工事)



大森ベルポート3期改修工事  
(リニューアル工事)

## 会社の対処すべき課題

当社は、建物のシーリング防水工事とメンブレン防水工事および建物のリニューアル（補修・改修）工事を主な業務とし、永年にわたる技術力の強化と品質管理能力の向上を図ることにより、「信頼ある品質」はお客様より高い評価を得ております。この伝統と信頼をさらに発展させて高品質な商品を提供し続けることで、受注の維持拡大や競争力・収益力が得られるものと確信し、「中期経営計画」に掲げた5項目の経営課題および諸施策の実現に社員一丸となって取り組んでまいります。

経営管理面においては、組織の大幅な変更を行いました。その目的としては以下の通りです。

- ① 新築部門とリニューアル部門を統合させることで、市場の変化に追随し、顧客のニーズに対応しやすい組織を目指し、社内の活性化と社員の有効活用を図る。
- ② 新規顧客開拓部門として開発営業部並びに技術開発室を設置し、ゼネコン主体の営業だけでなく、官公庁・不動産会社・集合住宅管理組合等、施主や管理会社からの受注拡大を図る。
- ③ 協力業者の一層の多能工化を促進させることで、生産性の向上を図る。

その理由としては、建設市場が低迷するなか、新築市場においては受注競争が激化し淘汰再編の時代に入ります。リニューアル（補修・改修）市場は、オフィス需要は横這いも集合住宅は拡大傾向が顕著である。また、そのような状況のなか、市場の変化が少しずつ短いサイクルに移行している。さらに、顧客のニーズが多様化するにつれて、新築、リニューアルの区分が見えなくなりつつあり、これに即応出来る体制を構築する必要があるとの考えに基づくものである。

当社は、人材育成が極めて重要であるとの認識のもと、教育制度を充実させ社員の能力を伸ばす職場環境を構築し、[マサルの総合力]を一層高めるよう努めてまいります。さらに、法令遵守およびリスク管理の徹底におきましては、内部統制室が中心となり、IT統制を含む内部統制システムの確実な運用およびリスク管理体制の確実な取り組みを図ってまいります。

品質においては、ISO規格に基づくマネジメントシステムの確実な運用・改善により、確かな品質の提供に努めてまいります。

## 株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 17,300,000株  
 発行済株式の総数…………… 4,505,757株  
 株主数 …………… 543名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社 操上	900,000株	20.47%
株式会社 荻谷	640,000	14.55
化研マテリアル株式会社	210,000	4.78
荻谷 純	202,225	4.60
株式会社みずほ銀行	188,650	4.29
マサル協力企業持株会	161,700	3.68
野口興産株式会社	134,100	3.05
日本生命保険相互会社	129,200	2.94
マサル従業員持株会	124,029	2.82
菅野産業株式会社	108,000	2.46

(注) 1.当社は自己株式(108,589株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況

金融機関	6名	469千株	10.42%
証券会社	3名	0千株	0.00%
その他の法人	31名	2,377千株	52.77%
個人その他	503名	1,658千株	36.81%



### 所有株式数別株式分布状況

1~999株	99名	4千株	0.10%
1,000~4,999株	385名	643千株	14.27%
5,000~9,999株	17名	98千株	2.19%
10,000~49,999株	26名	537千株	11.94%
50,000~99,999株	5名	315千株	6.99%
100,000~499,999株	9名	1,366千株	30.33%
500,000~999,999株	2名	1,540千株	34.18%



## 会社の概況 (2011年3月31日現在)

社 名 株式会社 マサル  
 設 立 1957年9月  
 本 社 東京都江東区佐賀一丁目9番14号

従 業 員 数 77名  
 営 業 所 シーリング・防水事業部 (東京都江東区)  
 リニューアル事業部 (東京都江東区)  
 千葉営業所 (千葉市川市)

## 取締役および監査役 (2011年6月23日現在)

代表取締役社長 荻谷 純  
 常務取締役 齊藤 誠一  
 取締役 照井 良二  
 取締役 操上 悦郎  
 取締役 山崎 栄一郎  
 取締役 大木 信雄  
 常勤監査役 内藤 龍夫  
 監査役 近藤 忠憲  
 監査役 柴谷 晃

## 株主優待制度について

当社は決算月(3月末)および中間決算月(9月末)現在で一定株数以上保有の株主様に対して、「ジャンボ宝くじ」を贈呈いたしております。

### 株主優待の内容

3月31日現在で1,000株以上保有

#### ◆「サマージャンボ宝くじ」10枚贈呈

9月30日現在で3,000株以上保有

#### ◆「年末ジャンボ宝くじ」10枚贈呈



※ 発送は宝くじ発売初日を予定しております。  
 (発売月の目安)  
 サマージャンボ宝くじ…………… 7月  
 年末ジャンボ宝くじ…………… 11月

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 事務取扱場所 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) ☎0120-176-417  
 (インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>  
 (ホームページURL)

【特別口座について】  
 株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <<http://www.masaru-co.jp/>>  
 上場金融商品取引所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場)



〒135-8432 東京都江東区佐賀一丁目9番14号  
 Tel 03-3643-5859 Fax 03-3643-5481  
<http://www.masaru-co.jp/>